

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2005-107963 (P2005-107963A)

【公開日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-016

【出願番号】特願 2003-341620 (P2003-341620)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 T 17/40 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/00 6 5 4 B

G 0 6 T 17/40 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置による操作指示方法であって、
コンピュータグラフィックス及びポインタを表示画面上に表示させる第 1 表示制御工程と、

ユーザからの操作入力に応じて操作メニューを表示する第 2 表示制御工程と、
前記第 2 表示制御工程によって表示された操作メニューより項目を指示する指示工程とを備え、

前記操作メニューは、項目を表示するための複数の項目領域を、内部に空洞な領域を構成するように、該空洞な領域の周囲に配置することを特徴とする操作指示方法。

【請求項 2】

前記第 2 表示工程は、ユーザからの所定の操作入力に応じて、前記ポインタの指示位置が前記空洞な領域内に含まれるように前記走査メニューを表示することを特徴とする請求項 1 に記載の操作指示方法。

【請求項 3】

前記複数の項目領域が円周状に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の操作指示方法。

【請求項 4】

前記走査メニューは環形状を有することを特徴とする請求項 3 に記載の操作指示方法。

【請求項 5】

前記複数の項目領域において選択状態とする項目領域を、前記ポインタを移動するための操作とは異なる操作入力信号に応じて切り換える切り換え工程を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の操作指示方法。

【請求項 6】

自身の位置及び姿勢を検出するセンサを有し、前記ポインタの移動及び前記複数の項目領域における選択状態の切り換えを指示する操作ユニットを更に備え、

前記ポインタの移動は前記センサよりの位置情報に基づいて、前記選択状態の切り換えは前記センサよりの姿勢情報に基づいて制御することを特徴とする請求項 5 に記載の操作

指示方法。

【請求項 7】

コンピュータグラフィックス及びポインタを表示画面上に表示させる第 1 表示制御手段と、

ユーザからの操作入力に応じて操作メニューを表示する第 2 表示制御手段と、

前記第 2 表示制御手段によって表示された操作メニューより項目を指示する指示手段とを備え、

前記操作メニューは、項目を表示するための複数の項目領域を、内部に空洞な領域を構成するように、該空洞な領域の周囲に配置することを特徴とする操作指示装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の操作指示方法をコンピュータに実行させるための制御プログラム。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の操作指示方法をコンピュータに実行させるための制御プログラムを格納した記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上記の目的を達成するための本発明による操作指示方法は、

情報処理装置による操作指示方法であって、

コンピュータグラフィックス及びポインタを表示画面上に表示させる第 1 表示制御工程と、

ユーザからの操作入力に応じて操作メニューを表示する第 2 表示制御工程と、

前記第 2 表示制御工程によって表示された操作メニューより項目を指示する指示工程とを備え、

前記操作メニューは、項目を表示するための複数の項目領域を、内部に空洞な領域を構成するように、該空洞な領域の周囲に配置する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、上記の目的を達成するための本発明による操作指示装置は以下の構成を備える。すなわち、

コンピュータグラフィックス及びポインタを表示画面上に表示させる第 1 表示制御手段と、

ユーザからの操作入力に応じて操作メニューを表示する第 2 表示制御手段と、

前記第 2 表示制御手段によって表示された操作メニューより項目を指示する指示手段とを備え、

前記操作メニューは、項目を表示するための複数の項目領域を、内部に空洞な領域を構成するように、該空洞な領域の周囲に配置する。